

那覇市在宅医療・介護連携推進事業 在宅医療同行訪問研修報告

氏名：Rさん（看護師）

所属施設：那覇市立病院

分野	訪問看護
実施日時	令和7年9月2日（火） 13時00分～17時00分
研修先	訪問看護ステーション アレグリア 宮城 訪問看護認定看護師、末吉 看護師
実施報告	<ul style="list-style-type: none">・利用者宅を訪問した際、通院先との情報交換（訪問時の様子や確認事項）として連絡ノートを活用していた。また、理学療法士（PT）や言語聴覚士（ST）の介入が必要な時は、院内の療法士へ介入を依頼できる事は大きなメリット。・緊急医療情報キットについてパンフレットでは見たことがあったが、実物と実際利用者宅でどのように使用し保管しているかを見ることが出来た。・訪問に際し、車のガソリンを満タンにする、災害時に備え利用者宅の地図をステーションに掲示し、ケアマネジャーやデイサービススタッフと連携して利用者を搬送する、という対策を聞くことができた。・在宅医療でも急性期医療と同様に生活保護受給者、高齢独居の方や身寄りのない方の問題は難渋している。・訪問看護新規依頼を受ける側として情報不足で困ったことはあるかと質問。内服薬について（中止しているのか処方忘れなのか曖昧なため）問い合わせたことがあった。また、訪問診療や訪問看護を導入する際、ケースによるが入院中に顔合わせや退院前カンファレンスがあると良い。看護サマリーに本人や家族の思い、どう過ごしたいか等の希望が書かれていると良いなど、現場の話しを聞くことが出来た。これらをふまえながら、今後、新規依頼する際に活かしたい。
研修を終えて	<p>今回の訪問実習で、在宅も病院と同様に難渋するケースは独居や身寄りなし、生保受給者であり、同じ問題を抱えていると感じた。</p> <p>私を同行させてくださった訪問看護ステーション アレグリアの宮城さん、末吉さん、同行を許可してくださった利用者さん、また、このような企画をして下さった、ちゅいしーじー那覇の皆様へ感謝。</p>